

# 『紙漉村旅日記』が語る 和紙と時代



京都府向日市の西向日住宅地に現存する旧邸・向日庵を拠点として、今から約80年前に全国各地の手漉き紙の産地を行脚して調査した寿岳文章・静子夫妻。調査の成果をまとめた『紙漉村旅日記』と、収集した紙の見本を展示して、当時の日本の紙漉場のような村の暮らしを紹介し、その時代背景を探ります。



2022 (令和4)年

6月4日 | 土 | ▶

7月31日 | 日 |

[開館時間] 午前10時～午後6時

(入館は午後5時30分まで)

※期間中の休館日：毎週月曜日(ただし7月18日<海の日>を除く)、7月1日(金)、19日(火)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱などの症状がある方はご来館をご遠慮ください。またご来館の際はマスクの着用や手指の消毒などにご協力ください。

主催 寿岳文章 人と仕事展 実行委員会、向日市  
共催 特定非営利活動法人 向日庵

文化庁 令和4年度文化芸術創造拠点形成事業

向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内 40-1

※阪急東向日駅から徒歩8分、JR向日町駅から徒歩15分

電話 075-931-1182 FAX 075-931-1121

https://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/



## 記念講演会

文化庁京都移転連携事業



日時 7月16日(土) 午後2時～4時30分

演題と講師

「文化財にみる和紙の系譜」

地主智彦さん (文化庁参事官付地方展開企画調整官)

「美術工芸品修理からみた和紙と現代」

中野慎之さん (文化庁文化財第一課文化財調査官)

定員 40名

申込み 6月4日(土)から直接または電話で向日市文化資料館へ。  
定員に達し次第締め切り。

## ワークショップ「手漉き紙づくり」

日時 7月30日(土) ①午前10時30分～ ②午後1時30分～

講師 田村 正さん (紙漉師、特定非営利活動法人向日庵理事)

定員 ①・②とも10名

申込み 6月4日(土)から直接または電話で向日市文化資料館へ。  
定員に達し次第締め切り。

## 日曜談話会「寿岳夫妻が旅した日本」

日時 6月12日(日) 午後2時～3時30分

担当 玉城玲子 (向日市文化資料館長)

定員 20名 (申込み不要、先着順)

## 記録映画上映会「京の和紙」〈45分〉

黒谷和紙(京都府綾部市)の工程・技法と紙の歴史 (1978年京都府制作、寿岳文章監修)

日時 ① 7月8日(金) 午後2時～

② 7月10日(日) 午前11時～

③ 7月10日(日) 午後2時～

定員 ①～③各20名 (申込み不要、先着順)



★会場はいずれも向日市文化資料館研修室 (展示会場の2階)